

令和6年度 一般社団法人 埼玉県校外教育協会委嘱

校外教育研究紀要

研究主題

地域や外部人材等とのつながりを生かした豊かな体験活動を通じた
「自ら考え、進んで実行」できる生徒の育成



吉川市立東中学校

〒342-0017

埼玉県吉川市上笹塚3丁目104番地—1

TEL 048-982-0244

FAX 048-982-0258

1 学校概要

本校は、埼玉県の東部に位置し、千葉県との県境である江戸川や、中川に挟まれた環境にある学校である。学校の周りには、見渡す限りの田畑が広がり、豊かな自然環境に囲まれている。通学区は広く、市内面積のおよそ半分の面積が通学区となっており、9割以上の生徒が登下校に自転車を使用している。

こうした環境の中、本校は、今年度開校65周年を迎えた。現在通学している生徒の保護者や、祖父母が本校の卒業生であることも少なくなく、地域に愛され、地域とのつながりの中で歴史を紡いでいる。学校教育目標「自ら考え 進んで実行」の具現化に向け、学校、家庭、地域と協力をしながら、学校運営協議会の熟議を踏まえた、日々の教育活動に取り組んでいる。

2 研究の概要

(1) 研究主題

地域や外部人材等とのつながりを生かした豊かな体験活動を通した「自ら考え、進んで実行」できる生徒の育成

(2) 主題設定の理由

本校では、コロナ禍を経て、学校と地域や外部人材とのつながりが希薄化してしまった。そこで、“地域とともにある東中学校”として、地域や外部人材との持続可能なつながりを再構築し、「自ら考え、進んで実行」できる生徒を育成していきたいと考え、本研究主題を設定した。豊かな体験活動を通して、本市の教育大綱である「家族を 郷土を愛し 志を立て 凜としていきでゆく」の具現化を図るとともに、自分たちの学校は、地域や外部人材等の多くの人々に支えられることに気づき、感謝の思いをもって進んで関わろうとする姿勢を育てていきたい。また、課題を自分事としてとらえ、学習に取り組むことで、「自ら考え、進んで実行」できる経験を積み重ねることで、これからも課題に対して、積極的に取り組む姿勢を育てていきたい。

(3) 研究のねらい

生徒が地域や外部人材等とつながりを通して、実際に体験する場を増やし、「知っていること」(知識)と「していること」(体験)の調和のとれた教育活動を積み重ねることで、「自ら考え、進んで実行」できる生徒の育成を図る。

(4) 研究計画

4月	生徒の意識調査/学年の意向調査/各事業所等へ順次交渉開始
5月30日	【全学年】非行化防止教室…県警非行防止指導班あおぞら
6月6日	【2年】AED体験…吉川松伏消防組合
6月18日	【2年】減災教育…吉川市危機管理課
7月8日	【1年】ブラッシング指導…埼玉県歯科衛生士会越谷支部
7月16日	【2年】SDGs関連学習…グリコピア
7月25日	【全学年(希望者)】アジサイ講習会…地域の講師
9月13日	【1年】SDGs関連学習…クルックフィールズ
10月21日	【3年】浄水場見学…吉川市水道課(会野谷浄水場)
11月2日	【全学年】音楽会指導…樋口智子様
11月6日	【2年】ASE体験…筑波大学/吉川市道路公園課
12月9日	【3年】国際理解教育…JICA
12月17日	【1年】SDGs関連学習 市長へ提案…吉川市学校教育課

- 1月14日 【2年】大阪・関西万博への出展企業による出前授業
…内閣官房国際展覧会推進本部事務局
- 1月15日 【全学年】ボランティア関連特別授業
…ちょんまげ隊 ツノダヒロカズ様
- 1月28日 【1年】福祉学習①…吉川市福祉協議会
- 1月30日 【3年】保育実習①…吉川市保育幼稚園課
- 1月31日 【1年】福祉学習②…吉川市福祉協議会
- 1月31日 【2年】東京フィールドワーク…都内各事業所
- 2月 3日 【1年】Yakult おなか元気教室…Yakult
- 2月 7日 【3年】保育実習②…吉川市保育幼稚園課
- 2月12日 【3年】生の教育…さら助産院院長 直井亜紀様
- 2月14日 【3年】保育実習③…吉川市保育幼稚園課
- 2月20日 【1年】パラスポーツ体験…埼玉県障害者交流センター
- 2月 成果のまとめ
- 3月 5日 【3年】生の教育…龍ヶ崎済生会病院産婦人科医 陳央仁先生
- 3月19日 【2年】進路・キャリア教育…現高校3年生の卒業生

3 具体的な取組

本研究における、主な取組について報告します。

(1) 「アジサイ」講習会 【地域との連携】

本校には、学校敷地内に多くの「アジサイ」が咲いている。時期になると、赤や紫など色とりどりの「アジサイ」が咲き誇り、生徒たちや来校者の皆様の目を楽しませ、「アジサイの東中」とも呼ばれていた。しかし、長い時間がたつ中で、多くの「アジサイ」から植生にも勢いがなくなってきた。そこで、地域人材



を活用し、「アジサイ」の剪定、管理等についての講習会をPTAと連携して実施している。生徒たちは、指導助言を受けながら、「アジサイ」の剪定・管理や次代の「アジサイ」の育成についても、現在進めているところである。

本事業については、令和7年度以降は総合的な学習の時間にて取り行い、生徒たちが「アジサイの東中」の歴史の一員としての自覚が一層深まるようにしていく。



(2) ASE体験 【市との連携】

ASEとは、「Action (実際の活動)」「Socialization (社会化)」「Experience (体験)」の略で、6~10人ほどのグループで様々な身体的・精神的課題解決を通じ、集団成熟と自己成長を図る活動である。吉川市では令和



2年度に関公園に4種類の施設を設置されていたが、運用については、新型コロナウイルス感染症による脅威の中であつたため、不十分な状況であつた。そこで、今年度、吉川市道路公園課との協力を経て、筑波大学



助教授 渡邊仁 先生の指導のもと、ASE 体験事業を実施した。

先生の指導を受け、道具を使わず木の壁を超える（ウォール）やグループ全員が乗っている丸太から降りずに端から端へ移動する（ラインナップ）などといった課題にグループ全員で取り組む中で、徐々にコミュニケーションが密になり、試行錯誤を繰り返しながら、グループとして課題解決を図ることができた。参加した生徒たちからは、「またやりたい！」といった肯定的な声が数多く聞かれた。

（3）大阪・関西万博への出展企業による出前授業【企業との連携】

本校では、次年度の修学旅行の行程に「大阪・関西万博」を入れている。修学旅行への事前学習に加え、「大阪・関西万博」について、生徒の興味関心を高めるため、内閣官房国際博覧会推進本部事務局所管の「令和6年度 大阪・関西万博への出展企業・団体等による出前授業」に応募した。出前授業は、これからの未来を担うこどもたちに、万博への出展企業・



団体等が、万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」の実現に向けて考えている様々なアイデアを伝えることを通じ、SDGsの達成や、未来社会のあり方についての考えを深めてもらうことを目的とされたものであり、本校は、「住友 EXPO2025 推進委員会」に来校いただき、「大阪・関西万博」の理念等について、直接聞くことができた。実際に現場を創る人の話や、実際の開錠で使われる機材の一部を見ることができた。

（4）ボランティア特別授業【外部人材との連携】

「自ら考え、進んで実行」できる生徒を育成する中で、実際に貴重な体験された方との交流を通し、「知っていること」（知識）と「していること」（体験）の差について、腹の底から伝わる経験を創るべく、「縁」あって、吉川市教育研究会の講演をされた「ちょんまげ



隊ツンさん（ツノダヒロカズさん）」の講演を実施しました。ツンさんのこと、ボランティアのこと、今の「能登」のこと、日本各地の被災地のこと、復興支援映画「MARCH」の上映などを通して、生徒たちは、日々、膨大な情報に触れるこの社会の中で、「関心の糸」を切らないことがどれだけ重要なのか、実体験として感じる事ができた。



4 研究の成果（○）と課題（◆）

- 地域や外部人材の人たちの思いに触れることで、自分たちの学校は、地域や外部人材等の多くの人々に支えられることに気づき、感謝の思いをもって進んで関わろうとする生徒が増えた。
- 課題を自分事としてとらえ、学習に取り組む生徒も増えてきている。
- ◆地域や外部人材との持続可能なウィンウィンな関係づくりが課題である。